

# こいた 小板まきばの里通信Vol 6.1

～日本最大のトンボ、オニヤンマを観察しよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国立公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高700mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

## ■ キャンプ場周辺で夏の植物を探索しよう！



ミョウガ



リョウブ



アキノ  
タムラソウ



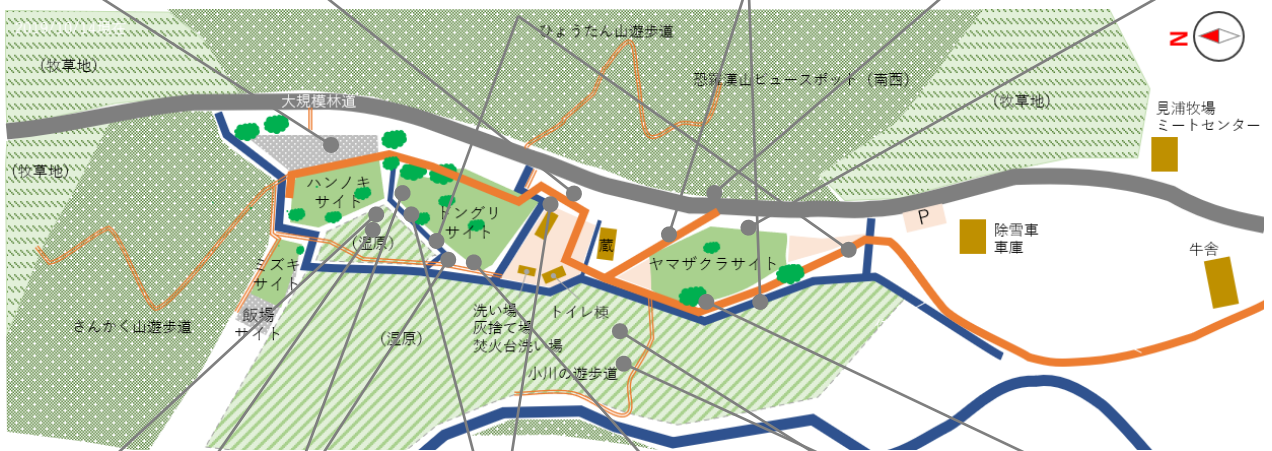
ヨツバヒヨドリ



ゲンノショウコ



ウド



材マツヨイガサ  
／アルチマツヨイガサ



ノカンゾウ



ツユクサ



ヨウシュ  
ヤマゴボウ



ノリウツギ



オトギリソウ  
／トモエソウ

## ■ 里山の自然観察 ～日本最大のトンボ、オニヤンマを観察しよう～

夏本番を迎えると、当キャンプ場内にも日本で一番大きなトンボ、オニヤンマが飛び回るようになります。オニヤンマの主食はハエやアブなど。ありがたいことにキャンプ場にいてほしくない虫を空中で捕まえてどんどん食べてくれるのです。いつも高速で飛んでいるのでじっくり観察するのは難しいですが、以下のタイミングなら観察できるかもしれません。①朝夕の涼しい時間帯にエントランス周辺の木陰の水路や小川に沿ってパトロールをします。その最中に製材機の横に張ってあるロープで羽を休めることがあります。②水路や小川でホバリングしながら産卵していることがあります。③回転するものが好きらしく、まれにテント内で使っている扇風機の前でホバリングすることがあります。これらのタイミングに出くわしたらじっくり観察してみましょう。